

ヒメチャマダラセセリ天然記念物40周年記念事業

須崎忠助原画展

～あの頃チョウが見ていた花たち～

日本ではアポイ岳にのみ生息するヒメチャマダラセセリは、今年で天然記念物指定40周年を迎えます。今回は、この記念の年を契機に、減少しているヒメチャマダラセセリが今よりも多く生息していたであろう大正から昭和初期にかけてのアポイ岳を歩き、花たちを見て、ペンと水彩を用いて精密画を描いた須崎忠助のヒダカソウを含む図版作品を展示・公開し、自然や文化財の大切さを再認識して頂きたいと考えております。

とき 平成27年10月1日(木)～11日(日)

※10月5日は休館です。

ところ 様似町中央公民館 ギャラリー21

開場 10:00～18:00

※日曜日は17:00までです。

須崎忠助 略歴

1866年(慶応2) 東京府下南多摩郡生まれ

東京大林区署雇・長野大林区署を勤務

1911年(明治44)45歳 北海道庁技手となり林務関係の作図を担当

1933年(昭和8)67歳 死去

主催 様似町教育委員会

